

市区町村名	滋賀県大津市	担当部署	健康保険部長寿施設課
		電話番号	077-528-2738
		所属メール	otsu1489@city.otsu.lg.jp

## 1 取組事例名

あえて今、老人福祉センターリニューアル

## 2 取組期間

令和5年度～（継続中）

## 3 取組概要

老人福祉センターを「健康寿命のさらなる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点施設」として機能充実

- ・浴場を廃し、フレイル予防に寄与する運動機能向上のためトレーニングルームとシャワー室を設置
- ・健康セルフチェックができるよう体組成計や血管年齢計、骨健康度測定器などの測定機器を設置
- ・トレーニングルームの継続利用を促すポイント制度を導入
- ・愛称を公募・決定し「老人のレクリエーション施設」のイメージを脱却

## 4 背景・目的

・老人福祉センターは全国各地に整備されているが、近年では利用者の減少や施設の老朽化等に伴い廃止に踏み切る自治体も多く、平成27年度に全国で2,106あった施設が令和4年度には1,896となり210施設が減少している。施設の存続には逆風が吹いている中、要介護認定者や一人世帯の増加、コロナ禍で社会的なつながりが希薄化するなど高齢者を取り巻く新たな課題に立ち向うべく、大津市は市内に5施設ある老人福祉センターをあえて機能充実してリニューアルするものである。

## 5 取組の具体的内容

・大津市内に5施設（木戸・北・中・南・東）ある老人福祉センターを「健康寿命のさらなる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点施設」として毎年度1施設ずつ機能充実を進める。

・更新や修繕に多額に費用を要する浴場機能は廃止して、洗い場スペースをシャワー室に改修する。

・3施設で介護保険制度以前から実施しているデイサービス事業は、民間事業者を牽引する当初の目的が達成されたため、浴場機能の廃止とともに廃止する。

施設名	改修工事	リニューアルオープン	備考
木戸老人福祉センター	令和9年度	令和10年4月1日	
北老人福祉センター	令和8年度	令和9年4月1日	併設デイサービス廃止
中老人福祉センター	令和5年度	令和6年4月1日	
南老人福祉センター	令和6年度	令和7年4月1日	併設デイサービス廃止
東老人福祉センター	令和7年度	令和8年4月1日	併設デイサービス廃止

・トレーニングルームは、オープンスペースの床を張り替えた上でトレーニングマシンを設置。高齢者のフ  
レイル予防に寄与する運動機能向上を目的としたマシンを選定している。

### 中老年人福祉センターに設置するトレーニングマシン



- ・トレーニングルームに隣接して**健康セルフチェックコーナー**を設置。体組成計 2 台、血管年齢計 2 台、骨健康度測定器 1 台、血圧計 2 台、握力計 2 台を備え、利用者が自らの健康状態を確認することができる。
- ・トレーニングルームの継続利用を促すよう、野菜や d ポイント等に交換できる「**OTSU POINT (おおつポイント)**」制度を導入し、利用回数に応じてポイントが獲得できる仕組みとなっている。
- ・トレーニングルームの利用はシャワー室利用と共通で 1 回 110 円を徴収する。
- ・老人福祉センターという名前が新規利用者の足を遠ざける一因となっているため、**愛称を公募し、全国 679 件の応募の中から「はぴすこ (ハッピーとすこやかなの造語)」に決定**。令和 6 年 4 月 1 日からは 5 施設すべてを「はぴすこ」と呼称している。※中老年人福祉センターは中はぴすこ。



トレーニングルーム



健康セルフチェックコーナー

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

・老人福祉センターは老朽化が進み、全国の自治体にとって負の財産扱いになりつつある中、「健康寿命のさらなる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点施設」としてあえて機能充実を行い前向きに存続の道を選んだことに独自性がある。コロナ禍で地域のサロンも開催できず高齢者の社会的なつながりが希薄化した今、老人福祉センターのサロンの役割はフレイル予防にとってより重要と考えられる。

・老人福祉センターの特徴である浴場設備については、どの自治体も更新・修繕費用に頭を悩ませている中、大津市では浴場設備をシャワー室に改修し、ボイラー設備からガス給湯器での給湯に転換することでランニングコストの削減を実現した。

・トレーニングマシンについては、高齢者が長く続けられるよう、負荷の上限が低く、構造や操作性がシンプルなものを選定する中、RIZAP株式会社が全国展開している chocoZAP（チョコザップ）のトレーニングマシンに着目。RIZAP社にとって同社が運営するジム以外の施設へのマシン納品は前例がなかったが、老人福祉センターをあえて機能充実させる取組に共感していただき、chocoZAP に設置してあるマシンと同機種を全国で初めて導入することができた。

## 7 取組の効果・費用

・老人福祉センターは利用者の固定化や減少化が課題であり、大津市では過去 10 年間で利用者が 5 施設合計 3 分の 2 以下に減少（H24：154,843 人→R4：96,232 人）している。利用者は年々高齢化し減少の一途であるが、リニューアルした中老人福祉センターにおいては、令和 6 年 4 月の新規登録者が前年比 900%アップ（11 人→99 人）である上、前期高齢者や女性の利用が増え、施設の雰囲気活性化した。

・中老人福祉センターの機能充実に要した経費

（千円）

費目	摘要	金額
工事費	浴室をシャワー室に改修、トイレを洋式化、トレーニングルームの床張り替え	19,917
委託料	浴室をシャワー室に改修、トイレを洋式化の設計費	2,455
備品購入費	健康測定機器（体組成計、血管年齢計、骨健康度測定器、血圧計、握力計）	1,943
備品購入費	RIZAP製トレーニングマシン（全 14 台）	2,410
合 計		26,725

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

・浴場設備及びデイサービス事業の廃止にあたり、各施設で利用者説明会を実施したが利用者はもちろん反対されるため苦勞した。他の自治体が浴場設備の老朽化を理由に施設を廃止または統合等する中、浴場の維持にこだわると老人福祉センター自体の存続にかかわるため、機能充実することで施設を守ると粘り強く説明を行った。

・市内に 5 施設ある老人福祉センターを毎年度 1 施設ずつリニューアルするため、利用料等に関して毎年度の条例改正が必要となったが、全体の方針は固まっているため、1 回の条例改正で 5 施設分の条例改正を行える条文や付則を整備した。令和 10 年 4 月 1 日の改正までを担保する極めて稀な条例であるため、庁内及び議会の了解を得るのに苦勞した。

## 9 今後の予定・構想

・令和 10 年まで毎年 4 月 1 日にリニューアルオープンできるよう毎年度施設ごとに設計、工事、備品購入を進めていくとともに、RIZAP トレーナーによるセミナーなどの開催を検討している。

## 10 他団体へのアドバイス

・中核市の調査を見ると、大半の自治体が老朽化に伴う修繕費に苦慮しており、特に浴場設備が大きなウエイトを占めている。公共施設マネジメントの観点から施設を廃止する自治体もあるが、様々なしがらみで廃止できない自治体は、浴場設備を廃止するだけでもランニングコストが大きく削減できるため、フレイル予防につながる機能充実という旗印をもって浴場をシャワー室に改修し、トレーニングマシン等を設置する取組は意外に安価である上、議会の了承も得やすいので有効と考える。

## 11 取組について記載したホームページ

[https://www.city.otsu.lg.jp/kenko/kourei/ko\\_shisetsu/fc/60976.html](https://www.city.otsu.lg.jp/kenko/kourei/ko_shisetsu/fc/60976.html)